

ある日の育児日記から

(68)

佐藤 和代



圭の小学校で運動会がありました。小学校の運動会ってどんなのかな、と興味しんしん。おべんとうを作って、家族で出かけていきました。

昨年の保育園の運動会では、圭は年長クラスでしたから、出番も多くて、目立つ存在。さすが年長さん、大きいね、しっかりしているね、あんなこともできるんだね...と言われるスターだったのに、今年はなんて小さく見えること！ やっぱりまだまだかわいい一年生なのね。六年生なんて体格はすっかり大人だったりしますから、差はもう歴然。いろいろな競技が、どれも、二年生だところ

れくらい、三年生だとあれくらい出来るようになる、という見本を見ているようでした。

そしてお昼。持ってきたシートを広げて、おべんとうを並べて。ふと回りをみると、あらら？ おべんとう広げている人がほとんどいない。同じ一年生の家族がちらほら、すみっこで食べているだけです（子どもたちは教室で給食を食べています）。うーん、我が家は小学校の運動会というものを誤解してたかな。そう

いえば、朝から見物人が少ない気はしていた。親は適当に見に来て、昼には家へ帰るものなの？ 競技は面白かったけど、何か物足りないものを残して、そそくさと帰った運動会でした。



1年生のダンスは、ぜんぜんぞろってないのかわいひ。